

所 報

(2018.5.1 ~ 6.30)

□研究員人事

(5月1日付)

研究補助員 (RA) 宮崎 翔一

(6月1日付)

兼任研究員 大和田悠太

新原 淳弘

根岸 海馬

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』716号 (2018年6月)

『大原社会問題研究所雑誌』717号 (2018年7月)

『日本労働年鑑』第88集 (2018年版, 旬報社)

□図書受入 (5月)

	和 書	洋 書	計
購 入	17	9	26
受 贈	25	13	38
合 計	42	22	64

□図書受入 (6月)

	和 書	洋 書	計
購 入	104	13	117
受 贈	64	67	131
合 計	168	80	248

□閲覧サービス (5月)

閲覧

開館日数 20日

閲覧者数 9名

貸出図書 12冊

コピーサービス

学外 7件 1,578枚

学内 0件 0枚

□閲覧サービス (6月)

閲覧

開館日数 21日

閲覧者数 19名

貸出図書	12冊	
コピーサービス		
学外	16件	4,433枚
学内	1件	47枚

日 誌

□5月

2日 閉室

9日 拡大事務会議・事務会議

10日 国際労働問題シンポジウム打ち合わせ (ILO 駐日事務所訪問: 鈴木玲, 藤原)

12日 子どもの労働と貧困研究プロジェクト研究会 (於: 市ヶ谷キャンパス)

①報告者: 齋藤健太郎 (京都産業大学) 「イギリス機械工の労働市場統合, 構造変化と統合の2局面」, コメントーター: 赤木誠 (松山大学)

②報告者: 山本千映 (大阪大学) 「工業化と生活時間「工業化と生活時間——イギリスの場合」コメントーター: 永島剛 (専修大学)

16日 運営委員会

議題①兼任研究員の承認

②研究会, 研究プロジェクトの承認

③自己点検・評価シートの承認

④大原社会問題研究所創立100周年/法政大学合併70周年記念シンポジウム「社会問題の現在」の開催 (2019年3月20日) について

⑤ その他

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

17日 大原社会政策研究会 (第46回)

高原正之 (大正大学客員教授) 「解雇規制の在り方を考える——解雇か合意解約か」

創立100周年記念「展示コーナー」開設 (第1回「初代所長高野岩三郎と高野房太郎」)

21日 法政大学ミュージアム開設準備委員会 (榎)

23日 研究員会議

月例研究会

五十嵐千尋 (兼任研究員) 「戦間期移植産業の展開過程——西洋菓子製造業の事例」

□6月

6日 所員会議・事務会議

11日 2018年度公害資料館ネットワーク総会/第6回公害資料館連携フォーラム in 東京第1回実行委員会 (出張: 清水)

12日 授業: 「ニュースライティング実習」(井上卓弥社会学部兼任講師, 対応: 鈴木玲)

16日 大原社会政策研究会 (第47回)

鄭安君（宇都宮大学大学院国際学研究科博士後期課程）「台湾の介護分野における外国人労働者の状況——雇用主、仲介業者、労働者の「総弱者化」」

20日 運営委員会
議題①大原社会問題研究所 2017 年度事業報告について
②その他

25日 法政大学ミュージアム開設準備委員会（榎）
26日 100 年史編纂委員会／100 周年記念事業準備委員会
27日 月例研究会
根岸海馬（兼任研究員）「サービス経済と「快適さ」の構造——現代日本の鉄道空間から考える」

法政大学大原社会問題研究所閲覧室等利用案内（抄）

【利用資格】どなたでもご利用いただけます。

【開館時間】〈平日〉9:00～16:30（予約制）

夏期休暇期間（8月上旬～9月中旬）は9:00～16:00

*必ず事前に FAX やメールでご来館日、閲覧資料をお知らせください。11:30～12:30 は受付ができません。出納受付は閉館 30 分前までです。土曜日は原則閉館となります。開館日については、ホームページでご確認ください。

【複写サービス】〈依頼コピー〉40 円（60 円）／枚

〈セルフコピー〉10 円／枚

〈セルフ撮影〉10 円／枚

〈プリンター印刷〉10 円／枚

*資料の複写をご希望の場合は、複写が可能かどうかを係員にお尋ねください。依頼コピーは 1 枚 40 円ですが、資料の状態によって特別な対応を要するものは 1 枚 60 円です。セルフコピーは状態の良い戦後の図書、雑誌に限ります。貴重書、劣化の激しい資料、製本新聞は複写できません。撮影の際は、フラッシュ撮影はできません。

【館外貸出】

	法政大学教職員 研究員・大学院生	学外者（学生は除く）
貸出冊数	10 冊	5 冊
貸出期間	3 ヶ月	3 週間

*学生は館内閲覧のみ、学外者の貸出は貴重書を除く図書のみです。

【非来館サービス】

〈文献複写〉上記複写料金＋送料実費で行います。

〈図書の郵送貸出し〉図書館・研究機関を対象に行います。冊数は 3 冊まで、期間は 1 ヶ月です。

【利用ガイド・見学】

*ゼミ・授業の 1 コマとして、また、グループ・個人を対象に随時行っています。事前にご連絡下さい。

併せて、当研究所ホームページもご覧下さい。http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/

大原社会問題研究所雑誌

No. 719・720（2018 年 9・10 月号）

2018 年 10 月 1 日発行

定価 2,000 円（本体 1,852 円）、年間購読料 12,000 円

編集（兼）発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所 長 鈴木 玲

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042（783）2305

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会・労働問題に関する「論文」「資料紹介」「調査報告」を募集しております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。

[2018.10.1 改定]

投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000 字以内（図表・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて本文に入り、著者名は記載しないでください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、①投稿原稿（審査用原稿）3 部、②1,000 字程度の要旨 3 部、③表題紙 3 部を送付してください。表題紙に記載する事項は、投稿原稿の①題名、②目次、③分量（図表を除く文字カウント数（スペースを含める）、図表の数）、④著者の氏名（よみがなを併記）、⑤肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑥略歴、⑦連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

【送付先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

投稿原稿 執筆要領

1. A 4 版の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「1.」「2.」の「1」「2」…を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江（2017）「近代日本のパターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705 号、29-43 頁。

原伸子（2015）「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店。

Suzuki, Akira（2016）“Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.